

米国心臓病学会にて口頭発表

2019年11月16日 - 18日にかけてアメリカ・フィラデルフィアで米国心臓病学会が開催されました。本学会は、基礎から臨床における心血管疾患に対する研究を中心とした学会で1万人以上の参加者が世界各国から参加する学会です。米国心臓病学会は、世界の循環器学会でも大規模な学会であり、学会当日には非常に大きな会場で多くの参加者が活発な議論を行っていました。私は、本学会において心肥大や心不全の発症・進展におけるエピジェネティックな転写制御機構に着目して研究した「Acetylation Of Histone H3 Globular Domain Is Involved In P300/brg1 Complex during The Development Of Heart Failure」について口頭発表させて頂きました。

本会中は、基礎研究だけでなく臨床における研究の最新の知見についても活発な議論が展開され、多くの刺激を受けることができ、大変貴重な時間を過ごすことができました。

薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 博士後期課程3年
分子病態学講座 船本雅文

